

想像力と創造力で社会を変える
未来を切り開く力を学ぼう



AOFUJI
EDU GROUP
青藤教育

目次

第2讲：ジャーナリズム論

宿題

- 今までの学歴や経験などに基づき、日本の大学院に進学する際に、なぜジャーナリズムを研究したいかについて日本語でご説明してください。
- **（時間制限： 1 分 *各自でお答えをご用意してきてください。発表していただきます。）**



復 習

- ジャーナリズム論
- ジャーナリズム & ニュース
- メディア
- マス・メディア
- コミュニケーション論
- マス・コミュニケーション論
- 大新聞 小新聞 活字印刷術 两次革命 日本の第一份报纸



復 習

- ジャーナリズムとは、社会的出来事に関する報道、解説、評論といった活動、あるいはその種の活動に携わる専門家された組織である。
- ニュースとは、現在もしくは最近の出来事に関する、事実的説明あるいは解釈として、定義づけることである。



復 習

- メディアとは、人間コミュニケーションを行うために使う道具（手段）である。
- マス・メディアとは、新聞、ラジオ、テレビ、雑誌、書籍、映画、CD、ビデオ、DVDなど最高度の機械技術手段を駆使して、不特定多数の人々に対して、情報を大量生産し、大量伝達する機構及びその伝達システムである。



復 習

- ・コミュニケーションの分類
- ・自己内コミュニケーション
- ・パーソナル・コミュニケーション
- ・集団コミュニケーション
- ・組織コミュニケーション
- ・マス・コミュニケーション



復 習

- マス・コミュニケーションとは、マス・メディアを通じて不特定多数の人々に情報を伝えることである。さまざまなコミュニケーションの一形態。
- ブロードシート：タイムズ、ガーディアン
- タブロイド：ザ・サン



流れ

- 1.ジャーナリズム論の系譜と現状と課題
- 2.近代化：社会の分化と統合
- 3.ジャーナリズムとナショナリズム
- 4.宿題



流れ

・一、ジャーナリズム論の系譜と現状と課題



ジャーナリズムの系譜

法政大学

社会学研究科 社会学専攻 メディアコース

2010 年春

[1] (A)または(B)のいずれか1つを選択して、論じなさい。(60 点)

(A) 次に掲げる論題から一つを選んで、具体的な事例を挙げて論述しなさい a メディア社会における公共圏

b メディア社会における記憶

c オーディエンス研究の系譜と現状と課題

d ジャーナリズム研究の系譜と現状と課題



• ジャーナリズムの系譜

- 1.第一世代ジャーナリズム：主張ジャーナリズム（17世紀）
- 2.第二世代ジャーナリズム：事実・客観主義ジャーナリズム（19世紀）
- 3.第三世代ジャーナリズム：解釈・批評ジャーナリズム（19世紀末20初頭）
- 4.第四世代ジャーナリズム：現状と課題（20世紀80年代以降）



ジャーナリズムの系譜

第1世代ジャーナリズム：主張ジャーナリズム

- 17世紀、ヨーロッパで今日の新聞の原型となるパンフレットが次々と発行され、社会に流通するようになった。
- いわゆる、ヨーロッパにおけるジャーナリズム活動の原型の誕生である。



ジャーナリズムの系譜

第1世代ジャーナリズム：主張ジャーナリズム

- 文芸運動、社会運動、政党運動の中で、文芸雑誌や文芸新聞、政党新聞が出現し、ジャーナリズムの考え方が出てくる。
- いわゆる、自分たちの政治的・社会的主張や思想を展開することによって、多くの人々の共鳴を得て、彼らを動員することがジャーナリズムである。
- この時期ヨーロッパ社会の中で、ルネッサンス、宗教革命を経て市民革命が起きた時期である。



ジャーナリズムの系譜

第1世代ジャーナリズム：主張ジャーナリズム

• 時代背景：

- 1.資本蓄積の進展である。富が得られると、人間の活動は自由度を増やすことになる。
- 2.活版印刷機の発明と普及である。15世紀、グーテンベルクによって発明された。印刷媒体が普及することで、パンフレットと聖書が普及するようになり、いわゆる「メディア革命」である。



ジャーナリズムの系譜

第1世代ジャーナリズム：主張ジャーナリズム

- 3.近代市民層の出現：知識や財産も持つ人々である。
- 4.イギリスとフランスにおいて、「**コーヒーハウス**」や「サロンハウス文化」が浸透し、**公共圏**が現れた。社会運動、政党運動が行われていた。
- **公共圏**：ハーバーマス **意見の回路**
- 定義：人々が生活の中で、他人や社会と相互に関わりあいを持つ時間や空間、または制度的な空間と私的な空間の間に介在する領域のこと



• 公共圏の特徴

- 平等性
社会的地位に関係なく、単なる人間として議論に参加すること。
- 公開性
討論の対象を入手する手段と、教養さえあれば、すべての人が議論に参加できる。
- 自律性
国家や教会などの権威によらず、自律的なコミュニケーションによって解釈していく。



公共圏

立命館大学社会研究科

【2019 年 4 月入学】社会学研究科応用社会学専攻 博士課程前期課程 入学試験問題 (2019 年 2 月実施)

問 2 次の 4 つの問題から 1 つ を選択し、10 行以上 で、考えるところを論じなさい。

1. 気候変動は、人々の間の格差（所得格差、世代間格差、地域間格差、国際間格差など）にどのような影響をもたらす可能性があるか。気候変動と格差について論じなさい。
2. 現代日本におけるワーク・ライフ・バランスに関する課題を明らかにしたうえで、その背景・要因などを分析し、処方箋を論じなさい。
3. メディアと公共圏について、論じなさい。
4. 社会的排除と貧困の関係について、論じなさい。



専門科目

立教大学社会学研究科

次の4問から2問を選択し、その番号を解答用紙に記入の上、解答しなさい。解答は、選んだ問ごとに別の解答用紙を使い、どの問に対する解答であるかがわかるように、冒頭に問の番号を記入すること。

1. 現代の日本など先進諸国の社会における少子高齢化と関連する諸問題について、これまでの社会学的な議論や概念に適宜触れつつ、論じなさい。
2. 現代社会における逸脱または犯罪の特徴について、具体的事例を取り上げ、これまでの社会学的な議論や概念に適宜触れつつ、論じなさい。
3. ジェンダーに基づく社会秩序が維持されている現代的メカニズムについて、具体的な事例を取り上げ、これまでの社会学的な議論や概念に適宜触れつつ、論じなさい。
4. インターネット、ソーシャルメディアの普及に伴い、オンライン上の政治的言説空間（「ネット世論」）が形成され、その影響力の高まりが指摘されている。この「ネット世論」について、近代社会における「世論」の形成との比較という観点および、「公共圏」という理論的観点の両者を踏まえ、社会学的に論じなさい。

世論の非合理性
集団の分極化



過去問

2019年度名古屋大学社会情報学

問 2. マスメディアとインターネットの構成するそれぞれの公共圏の特徴について比較対照して論じなさい。

B. 次の(1)(2)の問いの両方に答えなさい。

- (1) 医療・福祉分野の電子情報化の可能性と問題点について具体例をあげながら、自分の考えを述べなさい。
- (2) 公共性（圏）概念について説明し、そこにおけるインターネットのもつ可能性と問題点について論じなさい。

ポイント：ハーバーマスによる公共圏とは？ その特徴

公共圏とマスメディア

- マスメディアの発達と大衆社会の出現により、公共圏は直接顔を合わせる範囲から離れて、メディアによって媒介された仮想的な空間へ拡張していく。
- マスメディアにおける公共圏の特徴
- 平等性：対等な人間同士の関係から、見られる側（政治家や思想家などオピニオン・リーダー）と見る側（一般人）の分化が起きる。オピニオン・リーダーは世論に支持されることでその地位を保つ。
- 公開性：「公共圏」の分岐と複雑化　大衆社会の成長によって、さまざまな議論の対象〔学問・文学・芸術・宗教・フェミニズム・福祉や社会政策〕が取り上げられるようになり、ローカルな公共圏が生まれる。それがメディアによって相互浸透していき、グローバルな公共圏にいたる。→公共圏が豊かになっていく。
- 自律性：社会空間としての公共圏は世論形成によって、政治システムを批判するだけでなく、みずからの在り方も批判的に討議していく。→公共圏の成熟

公共圏とインターネット

- インターネットにおける公共圏の特徴
- 平等性：マスメディアを媒体とした公共圏に比べて、見る側 / 見られる側の分化はかなりゆるくなり、情報発信能力を持つ人が既存の権威によらずオピニオン・リーダーとして登場する可能性をもつ。 →マスメディアベースの公共圏よりも、圏の接合の自由度の増大。資産・教育などで、ネットワークへの参加条件は左右される。情報資産を軸とした「階級」の発生の可能性。例：NGO、NPO
- 公開性：一定の機器を使えることや、技術的知識が前提となるが、参加を制約する条件はそれ以外にはない。また、複数の公共圏が互いに相互浸透しやすくなる、私的生活圏からの問題提起が行いやすくなるといったネットワークの柔軟度が高まる。 →参加のしやすさ、問題提起のしやすさ。
←政治システムによる監視や規制の強化の危険性。個人情報保護と、情報公開のかねあい。
- 自律性：インターネットなどネットワークコミュニケーションの経験は、独自のリアリティをもつ自律した空間として認識されており、独自のルールを自律的に形成する。 ←匿名性

NGO & NPO

- NGO: Non Governmental Organization 非政府組織
- 定義: 政府や国際機関とは違う民間の立場から、利益を主要な目的にすることなく、貧困、紛争、環境、人権など国際的な課題解決を目指して活動する団体を指します。
- NPO: Non-Profits Organization 非営利組織
- 定義: 構成員に対して収益を分配せず、社会課題解決を主な目的とする団体を指します。
- NPO(非営利組織)⇔一般企業(営利組織)
- NGO(非政府組織)⇔公的機関(政府機関)

一般的に、地域や労働、子育てなど、国内の課題に対するのが「NPO」、開発、貧困、紛争など国際的な課題に取り組む団体を「NGO」と使い分けています。

ジャーナリズムの系譜

第2世代ジャーナリズム：

事実・客観主義ジャーナリズム

- 大量の情報要求が出てくると、ジャーナリストといわゆる専門職業人が誕生する。政治活動家とジャーナリストが分離し、ジャーナリストは独立するということになった。
- 特定の政治主張を有するジャーナリズムでなくなり、大量の人を相手し、事実を提供する事実・客観主義ジャーナリズムとなる。
- 客観主義のレトリック：5W1H
- いつwhen どこでwhere 誰がwho 何をwhat なぜwhy
- どのようにhow



- ジャーナリズムの系譜

第2世代ジャーナリズム：

事実・客観主義ジャーナリズム

- 時代背景：

- 1. 19世紀になると、世界的に通信網や交通網の整備、通信社の誕生
- 2. 「言論の自由化」の制度化である。
- 3. 国を単位とした「メディア市場」の形成と「メディア企業家」の誕生である。
- 4. メディア・リテラシーを持つ近代読者の誕生と新聞の需要拡大



• メディア・リテラシー

- **定義**：メディアをコミュニケーションの送信・受信行動に活用できる力である。広くは、自己をメディアにより表現し、メディアで表現されるメッセージの意味を解釈する総合的力を指す概念だと捉えられている。
- **17世紀**：シェークスピアの劇曲を読んで理解できる高い教養
- **19世紀**：産業社会になって文字の読み書き能力
- グローバリゼーションが進んだ現代の**高度情報化社会**においては、「文字の読み書き」を指すリテラシーという概念が時代遅れになってしまった。
- 知識や情報が常に更新され新たな意味づけを持っていく社会におけるリテラシーは、「**批判的で反省的な思考力とコミュニケーション能力の教育**」として再定義されました。



客観報道原則

- 藤田真文
- 「事実を客観的に記述」する報道
- 三つの原則：
 1. **事実性原則**：報道する事実を曲げなく、事件の真相を正確かつ忠実に伝えることである
 2. **没評論原則**：記事に報道する者の意見を含まないことである
 3. **不偏不党原則**：意見が分かれている出来事については、一方の意見に偏らずに報道すること



- ジャーナリズムの系譜

第3世代ジャーナリズム：

解釈・批評ジャーナリズム

- 政府の発表原稿や報告書、企業発表を理解し、解釈し、政策や戦略の問題点を指摘する。

- 時代背景：

- 1. 事実・客観主義ジャーナリズムが陥った問題： 19世紀後半から20世紀初頭における商業主義とイエロージャーナリズム、戦争の台頭
- 2. ジャーナリスト教育の専門化の進展



- イエロージャーナリズム

- イエロージャーナリズム イエロー
ニュース 赤新聞

- 定義:

- 新聞の発行部数等を伸ばすために、事実
報道よりも扇情的である事を売り物とす
る形態のジャーナリズムのこと



• イエロージャーナリズム

- イエロージャーナリズム イエローニュース 赤新聞
- 19世紀、ピューリツァー発行の『ニューヨーク・ワールド』
- ハーストの『ニューヨーク・ジャーナル・アメリカン』
- 漫画『イエロー・キッド』
- 多彩な形容詞と誇張の使用や、迅速さを優先して事実検証不足のニュース速報あるいは全出来事の慎重な偽造によって作り出された物語



• イエローニュースの特徴

センセーショナル
sensational

- 赤や黒の大きな活字で人を驚かせるような見出しをつける。大したニュースでもないことが多い
- 絵や写真を多用するが、その多くはどうでもいいようなもので、盗用や捏造も見られる。
- あらゆる種類の詐欺的行為が行なわれている。たとえば、インタビューやストーリーの捏造、誤解を招く見出し、エセ科学など。
- 弱い者の味方であるかのように振る舞う。



• イエローニュース

- 在《新闻报》和《世界报》的激烈竞争中发展起来的黄色新闻，以及这种新闻报道方式所带来的巨大利润，引起了全国报纸的效仿。1899年至1900年，是美国黄色新闻发展的高峰。当时全国的主要报纸中约有三分之一是纯粹的黄色报纸。
- 美国的新闻学者埃德温·埃莫里曾评价：“赫斯特制造出了有史以来最坏的新闻，将美国新闻事业的水准降到了最低。”
- 1838年 ザ・サン
- 1898年 米西戦争 センショナリズム



ジャーナリズムの系譜

第4世代ジャーナリズム：現状と課題

- 1980年代以降、オーディエンスに迎合するようなジャーナリズム
- タブロイドジャーナリズム（西山記者事件） ポピュリズム
- 小泉劇場政治
- ジャンルの無境界化と融合などが登場した
- 時代背景：
 - メディア市場のグローバル化、多チャンネル化
 - わかりやすさと楽しさへの追求



• 流れ

• 二、近代化と社会の「分化」と「統合」



近代化

- 西欧社会では、17世紀から18世紀にかけて「市民革命」(1789) 18世紀から19世紀にかけては「産業革命」(1760年 – 1840年)が生じた
- 伝統社会から近代社会へ移行した画期的な出来事
- マス・メディアをはじめとする諸メディアの発達と普及は、近代社会の成立と密接に結びついていた



近代化

- 近代化の諸傾向
- 技術的経済的領域——産業化、資本主義化
- 政治的領域——近代国民国家、民主主義
- 社会的領域——家父長制家族から核家族：男女役割分担 村落共同体から近代都市
- 文化的領域——科学革命、神学的知識から実証的知識へ
- 核家族：(1) 夫婦とその未婚の子女(2) 夫婦のみ(3) 父親または母親とその未婚の子女のいずれかからなる家族。



• 専業ジャーナリズム の出現

- 社会が「拡大」し、人々は専門的な社会集団や組織に属するようになり、国家社会の内部においては、個人間、集団間、さらには地域社会間の役割分化が進んできた。
- マス・メディア組織に所属するなどして、様々な情報を人々に提供する専門的な職業が生まれ、ジャーナリストという専門家集団が活動を開始し、社会的影響力を増大させていった。



• 社会の「分化」と「統合」

- こうした社会が「分化」する中で、既存の社会秩序は動揺し、大きく変化してきた。
- 大規模化し、分化した社会では、個人や社会の分業化により相互依存の高まりといった傾向が見られるようになった。
- その結果、社会統合の役割を担う機構や制度の必要性が高まった。
- マスコミュニケーションは、こうした社会統合に大きく寄与してきた。マスコミュニケーションは人々の間で情報の共有化を促進し、情報環境の共通化の程度を増大させる役割を担ってきたからである。



• 社会の「分化」と「統合」

- Point:
- 近代社会:
- Morden 17 18世纪
- 标志: 法国大革命 工业革命
- 特征: 技术 政治 社会 文化



・流れ

・三、ジャーナリズムとナショナルリズム



AOFUJI
EDU GROUP
青藤教育

• 出版資本主義

- 言葉は印刷されるという作業を通じて出版語として社会に流通し、印刷された言葉は、多様な言語の間に交換とコミュニケーションの統一な場を提供したのである。
- 土着語
- このような統一的な場の形成は、国王に従属する中央機構を備え、領域性と主権性を有する絶対主義国家の成立を促す基盤を提供した。



• 出版資本主義

- コミュニケーション革命と出版資本主義の進展が、18世紀以降のヨーロッパの国民国家の発生をうながした。
- 宗教改革
- すなわち、それらが「国民的アイデンティティ」を生み出す重要な要因となった。
- 近代の国民国家の構成員は、イメージとして心に描かれた想像の政治共同体の中で「国民」となるのである。



• 国民国家

- 国民国家は、「国民」を単一の民族で、単一の言語をもつ集団、さらに伝統や文化、宗教などの面でも同質であることが強く意識されるようになる。
- 国民国家（nation-state）： 単民族



• 想像の共同体

- **定義：** 国民（nation）は社会的に構成されたコミュニティであり、それは、当該の集団の一部として自己を認識する人々により想像されているものである。
- **アンダーソン** 『想像の共同体』
- 国民共同体への想像力を喚起するうえで最も重要な媒体となtたのが出版言語



• 想像の共同体

- 出版資本主義により出版言語が登場することで、口語では相互理解が不可能だった人々の間でのコミュニケーションが可能になった。そのことで見知らずの「同胞」への想像力を生み出した。
- 出版言語を媒介として、国民共同体の成員間ではこうどな相互理解が可能だというイメージが共有されることが重要である。
- 共通の出版言語の存在を通じて、見ず知らずの同胞との相互理解に関するイメージが共有されていく。



・想像の共同体

【2019 年 4 月入学】社会学研究科

立命館大学社会学研究科

問 1 次の 20 の語句から 3 つを選択し、それぞれの内容について説明しなさい。

1. 法則定立的／個性記述的
2. ハビトゥス
3. シャドウワーク
4. 第一波フェミニズム／第二波フェミニズム
5. ラベリング理論
6. 属性主義と業績主義
7. 持続可能性
8. 汚染者負担の原則
9. 集団の拡大と個性の発達
10. 世俗化
11. 議題設定
12. 集団極化
13. 想像の共同体
14. メディア論における技術決定論
15. 社会保障給付における貧困の罭
16. 福祉多元主義
17. ナショナル・ミニマム
18. ソーシャルワークにおけるエコ・システム理論
19. ライフスタイルスポーツ
20. ユベロス商法



• ナショナリズム

- 数百万の人々が同じ番組を聴いているという事実は、自分たちが国民共同体（nation）の一部であるという感覚をもたらした。
- **定義**： ナショナリズム（nationalism）とは、人々のあつまりの基本的な単位を国家（→**国民国家**）とし、その構成員たる国民＝ネイション（nation）を維持・発展させていこうとする政治信条のこと。



• ナショナリズム

- 原初主義：アンソニー・スミス エトニ
- スミスは近代以前の身分を横断しなかったり、地理的広がりを持たず、ネイションのような政治単位となりえなかった共同体を「エトニ」と呼び
- 费孝通『乡土中国』 差序格局
- 近代主義（道具主義）：アンダーソン 想像の共同体



• ナショナリズム

- 民族主义是一个动态的观念
- 中国的民族主义：从未是国民国家
- 驱除鞑虏 恢复中华 五族共和
- point: 帝国解体→共同语言→ 印刷技术的发展→ 单一民族形成→国民国家的出现



新聞学 専攻 領域 (博士前期/修士・博士後

試験科目： 専門科目 (新聞学)

試験時間： (90) 分

問1 以下の①～⑦の人物の中から2人を選択し、その業績をそれぞれ500字程度で説明しなさい。

- ① エリザベス・ノエル＝ノイマン
- ② レイモンド・ウィリアムス
- ③ フレッド・シーバート
- ④ 鶴見俊輔
- ⑤ 村木良彦
- ⑥ 吉田秀雄
- ⑦ 費孝通



• 遠隔地ナショナリズム

- 移民のあり方
- 移住先でも通信ネットワークを通じて母国の社会や分化との接触を継続できる容易になった移民の出現は、同化を前提としたそれまでの移民政策を破綻させた。
- 移民たちは移住先への愛着をほとんど感じることにして、送金や武器の給与を通じて母国の政治に介入する「遠隔地ナショナリズム」



• 今週のポイント

- ジャーナリズムの系譜
- 公共圏
- NGO & NPO
- 客観報道原則
- イエローニュース
- 近代化の傾向
- 国民国家 想像の共同体 ナショナリズム 出版資本主義
- メディアリテラシー



宿題

- 小論文（500~600文字）
- ジャーナリズムとナショナリズムの関係について説明しなさい。
- 名词解釈（300~400文字）
- イエローニュース
- 想像の共同体
- 公共圏
- 下周五晚上18:00点之前发掉我的邮箱：critic_526106333@yahoo.co.jp
- 邮件名：自己的名字+日期



小論文

※ ○小論文

※ 1時間・1000字程度

※ 小論文の目的は、文章表現力と論理構成力が一定の水準にあることを示して試験に合格すること。

※ 問いは、問題という形で出題者から与えられる。

※ 時間制限があり、資料などを参考にできない環境での執筆なので、内容が論理的で面白ければ良いわけで、厳密な意味でのオリジナリティ、すなわち書き手自身が初めて考えたという独創性は求められない。



• 小論文の構成

- 1.定義解明：～とは～である。
- 2.それぞれの要点を挙げて、説明する。(具体的には以下のような三点を分けて、分析することにする。)
- 3.理論は必要であるが、例も不可欠。(例えば、あるいは具体的な例として)
- 4.まとめ (以上のように)

